

DIOCTLクラスリファレンス

DIOCTLクラスはGID-DIOユニットのPCトリガシングルモード専用の制御クラスです。
dio.hをインクルードしてください。

□ 定義

○ 回線速度

B1200 1200bpsで接続します。

B115K 115Kbpsで接続します。

```
enum DIOSPEED { B1200, B115K };
```

□ メソッド (関数)

○ コンストラクタ

- 機能

DIOCTLクラスを生成します。

- 構文

```
DIOCTL( int Port, DIOSPEED speed, int DefaultData = 0x00);
```

- 解説

RS232Cポート番号、DIOのスピード、初期出力値を設定して構築します。
指定ポートにGID-DIOユニットが繋がっているものとして指定速度で接続を試みます。
実際に接続に成功したか否かはisConnect()で判定できます。

○ デストラクタ

- 機能

DIOCTLクラスを廃棄します。

- 構文

```
virtual ~DIOCTL();
```

○ 1200bps 接続

- 機能

1200bps で接続します。すでに接続している場合は一度切断します。接続できればtrue、接続に失敗したらfalseを返します。

- 構文

```
bool Set1200bps();
```

○ 115Kbps 接続

- 機能

115Kbps で接続します。すでに接続している場合は一度切断します。接続できればtrue、接続に失敗したらfalseを返します。

- 構文

```
bool Set115kbps();
```

○ ループバック

- 機能

ループバックテストをします。ループバックに成功するとtrueを返します。

- 構文

```
bool LoopBack();
```

- 解説

0 から 255 (0xff)まで順に1バイト送信して1バイト受信し送信データと受信データを比較します。出力と入力完全に一致すると成功、不一致があると失敗します。

○ 1バイト送受信

- 機能

指定した1バイト(引数の下位8ビット)を送信して入力を受信して返します。

- 構文

```
int InOut( int outByte );
```

- 解説

エラー（接続していない場合）は-1を返します。

○ 1バイト受信

- 機能

既定値（前回送信したデータ）を送信して1バイト受信します。

- 構文

```
int In();
```

- 解説

エラー（接続していない場合）は-1を返します。

○ ビットセット

- 機能

channelで指定したビットをOnOffで指定した値（trueならオン、falseならオフ）します。他のビットは既定値です。

- 構文

```
int BitSet( bool OnOff, int channel );
```

○ 接続状態確認

- 機能

接続していればtrue、切断状態ならfalseを返します。

- 構文

```
bool isConnect();
```